

成果の説明書

(氏名)新田浩司	(学部)地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 2020.8.21 栃木県芳賀地区主事技師研修における講師として、「地方公務員法」を担当した。</p> <p>(2)第 123 回憲法学会（本学で開催）において、「行政強制と人権—行政法学的見地から伝染病対策を考える」というテーマについて発表した。</p> <p>(3)金井洋行・新田浩司共著『プロローグ行政法』（八千代出版発行）の改訂版出版のための原稿を作成し、2021 年 3 月出版。</p> <p>(4)「法学憲法基礎」の編著者として原稿を作成、八千代出版より 2021 年 3 月発行。</p> <p>(5)法学憲法教科書の原稿を作成中である（出版社は、成文堂を予定）。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>(1)憲法学会理事（現在に至る）</p> <p>(2)高崎市放置自転車審議会委員長（現在に至る）</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>(1)憲法学会 60 周年記念論文集『日本憲法学の理念と展望』（成文堂）に寄稿予定。</p> <p>(2)アメリカ合衆国の移民政策について継続的に研究を重ねている。現在までの研究論考を取りまとめ単著とする予定（継続）。</p> <p>(3)航空行政法に関する論考を取りまとめ単著とする予定（継続）。</p>	